

# なんたん

No. **49**

農業委員会だより

令和 4 年 10 月号

## 実りの秋!! 笑顔で収穫



農業委員会のうごき	2~3
まちかど通信	4~5
地域農業を支える	6
特集 他	7
なんたんあっちこっち 他	8

美味しいお米  
いただきます~す♪

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail [co-nougyo@city.nantan.lg.jp](mailto:co-nougyo@city.nantan.lg.jp)

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/index.html>



# 農業委員会のうごき

## 管内視察研修「ドローン実証実験」

### 研修会を開催

「研修会を開催」  
 昨今、スマート農業という文字がよく目につくようになりました。ロボット技術や情報通信技術といった中でも、ドローンの技術を取入れて農作業の省力化や作業効率を高めることに期待しています。

農業委員会は、農業従事者の高齢化が進み労働力不足が深刻であることから、南丹市にスマート農業の推進を提言してきたところです。

今回伺った舞鶴市農業委員会は舞鶴市、舞鶴工業高等学校と連携し、ドローン映像を使った農地利用状況調査の実証実験に取り組みられています。

### ドローン導入の経過

舞鶴市では、毎年猛暑期に、管内農地の調査で山奥などの立ち入り困難な場所に入っていくことがあり負担になっていました。そういった調査の効率化を検討していく中でドローンの導入を考えられたそうです。

導入の狙いは、前文にも書きました立ち入り困難な場所での確認作業の負担軽減を図ること、調査の内容を確認し判定の確実性を上げることの2点だそうです。

### 農地利用状況調査

管内農地の調査については、農地法第30条により義務付けられています。

その中で山間部など目視では調査しづらいエリアや、調査が困難な場所をドローンを用いて撮影することで農地の確認が行われています。

実験の結果、ドローンのカメラワークは、飛行高度は低い方が農地の状況を良く見えるが、農地の位置関係は高度が高い方が確認しやすいなど最適な高度を模索しているそうです。

とくに農地性の有無については、はつきり判断できるため非農地判断には有効だそうです。

### 意見交換

舞鶴市農業委員よりドローンを使用して「目視より確実に農地形状を捉えられる」「短時間で空いている時間にできる」などの感想を伺いました。

こちらからは「ドローン講習会や購入価格費用はどれくらいか?」「静止画・動画の撮影は可能か?」「ドローンの他での活用方法は?」など多くの質問がありました。この研修で得た知識を今後の委員会活動で活かしたいと思われました。

(取材：谷口定己 委員)



豊かな老後生活のために!!

加入しませんか?

のうねん  
**農業者年金**

## 国民年金に上乗せする公的な年金制度です

- 1. 農業者なら広く加入できる
- 2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
- 3. 保険料の国庫補助
- 4. 保険料は2万円～6万7千円まで千円単位で選択可能
- 5. 税制面で大きな優遇
- 6. 80歳までの保証がついた終身年金

詳しくは農業委員会事務局まで (連絡先：0771-68-0067)

## 農地の利用状況調査を実施



### 利用状況調査とは

7月11日から15日にかけて、農業委員と農地利用最適化推進委員が担当地域を中心に利用状況調査及び農地パトロールを実施しました。

今回の調査では、令和3年度に農地法に係る届出や許可を受けた土地、遊休農地を対象として実施しました。

調査では農地が届出や許可のあった内容通りに適切に利用されているかを確認するとともに、耕作が放棄されていたり、適切に管理が行われていない農地（遊休農地）がないか調査しました。



萱などが生い茂った遊休農地

この調査は、農地の利用状況の把握を行い、遊休農地の状況を確認し、解消に向けた取り組みを行うことを目的として毎年実施しています。

耕作放棄された農地では、雑草が生い茂り、害虫が発生したり野生鳥獣の住処となることも多く、周辺の農地に悪影響を及ぼしてしまします。

### 調査結果に基づいて

調査した結果について、旧町ごとに地域別検討会を実施し、担当

地域の農業委員会委員と農地利用最適化推進委員が各農地の状況について報告し話し合いを行いました。

さらに遊休農地については、農地の荒廃状況によって再生が可能な状況にある農地と再生が困難な農地に分類し、再生可能な農地については、今後の農地の利用について（自身で耕作・管理を行うのか、農地を貸したい、売りたいなどの意向を確認するため）農地の所有者等に対し意向調査を実施しています。再生が困難な農地に対しては、農業委員会で非農地判断を行います。

### 今後の展望について

今回の調査では、45,477㎡が遊休農地と判断されました。昨年度と比べると遊休農地は減少していますが、今後も遊休農地の解消に向けて取り組んでいきますので、引き続き適切に管理をしていただくとともに、労働力の不足などで耕作が困難になる恐れがある場合は耕作放棄地になる前に農業委員会にご相談ください。



## 全国農業新聞を購読しませんか。

農業経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。

農業者の視点で、さまざまな情報をお届けします。

発行日/金曜日発行(月4回) 発行所/全国農業会議所

購読料/月額700円(税込)

購読の申込は農業委員会事務局まで 電話 0771-68-0067

地元で活躍されている方や農業に関する取り組み、  
また、日々の生活に密着したまち情報をお伝えします！

# まちかど通信

## 第二の人生を農業に

### 西村 きちじ 吉次さん (園部町河原町)



西村さんは、これまで京北町で趣味で野菜作りをされていましたが、令和2年に退職されたことを機に移住され本格就農されました。

昨年はスイカなどの夏野菜を動物に食べられてしまい収穫量を確保するのは大変だったそうですが、今年は網などで囲み、獣害対策を講じたため安定した収穫量を確保できたそうです。



▲直売所

収穫した野菜は市内の飲食店や福祉施設に卸しています。他にも直売所を新町に設け、玉ねぎ、大根、キャベツ、白菜、ネギなどを販売されています。

今後は、獣害対策などの設備も整ってきたので、もっと多く販売できるように頑張りたいとのことでした。

(取材：寺尾義延 委員)

## Tani Dairy Farm 株式会社 谷牧場 (八木町池上)

## 新牛舎で経営の近代化



株谷牧場は、JR八木駅から北東の田園地帯の中、雪印メグミルクの向かい側にあります。

経営者の谷学さんは、積極投資による、少人数労働で経営の近代化を図っておられます。

新牛舎は、令和4年5月9日に竣工し、乳牛はホルスタイン種で、合計135頭を飼育されています。

当牧場は、フリーストールと呼ばれる、牛を繋がない飼育方法を採っており、牛は牛舎の中心に自由に動き回れます。真ん中にスウエーデン製の搾乳ロボットを設置した部屋があり、牛は自分で入ります。その中で、餌



を与えられるとともに、乳房を自動で探し当て、洗浄して、搾乳機を装着し、自動調整後本格的に搾り始めます。終わると、ゲートが開いて、次のゾーンに誘導されます。ここでは、糞尿を自動で集める機械仕掛けがあり、作業を大幅に軽減しています。

見学は年間1,000人程度対応されているそうです。数々の困難はあれ、持ち前のチャレンジ精神で切り拓いて行かれると期待しています。

(取材：小早川健一 委員)

●住 所：八木町池上小堤16番地  
●電 話：0771-42-2698  
●見 学：可能 (1週間以上前に予約)

## 「ヒヨドリ商店」 (日吉町志和賀)

「長年の夢が叶いました」



店主の小長谷まゆみさんは、兵庫県明石市から家族3人でリターンされました。そして実家近くの空家を買い取り、納屋を改装して念願のお店屋さんをオープンされました。

そこで提供されている日替わり定食などで、地元の「清水米（せいすいまい）」を使用しているのですが、これが美味しいと評判で、はるばる遠方から来ていただける方ももいらっしやいます。コ

ヒーだけの利用も可能とのことだ。

他にも地元の野菜や自家製パンなどを少しですが販売することもあります。

小長谷さんは小さい頃からお店を開くのが夢だったそうです。ご家族の協力もあり、「長年の夢が叶いました！今後は気軽に立ち寄っていただける店を目指します。」と頑張っておられます。

(取材：井上雅晶 委員  
吉田正美 委員)



- 住所：日吉町志和賀タヤ11
- 営業時間：火、水、土曜日
- 営業日：11：30～17：00

## 京都美山の発酵温浴「発酵人間」 (美山町大野)

「体と心に最高のひと時を」



### 京都美山の発酵温浴「発酵人間」

- 住所：美山町大野文墨地5-2
- TEL：090-9547-4410(予約)
- 定休日：木曜日

令和4年3月、美山町大野の地に京都美山の発酵温浴「発酵人間」がオープンしました。

酵素風呂は、ヒノキのおがくずと米ぬかを調合し、微生物が発酵する際の熱（60～70℃）を利用します。

オーナーの中井崇太さんは、大阪市内で酵素風呂を経営されていましたが、発酵微生物が喜ぶ自然豊かな土地を探した結果、美山町にたどり着いたとのことだ。

開業前にご夫婦で各地の酵素風呂巡りを楽しみながらリサーチをされたようで、ここ

では一人で入浴する形状にされています。

酵素風呂には、体質改善、美容、免疫力の向上や細身などの効果が期待できます。

筆者も最近お腹が気になりますので是非試してみたいところです。

中井さんは、酵素風呂の新規開業の指導や、使用後のおがくずを有機微生物群（EM）農業による野菜栽培などに活用し、自然循環型の持続可能な取り組みを進めたいと熱く語られました。

(取材：倉内 裕 委員  
三崎正子 委員)

# 地域農業を支える

## あの人この団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動する  
団体・個人を紹介します。

### 株式会社 <sup>りょう</sup>Ryo 西田 良弘さん (園部町口司)

### 摩気地域活性化のために



6年前(平成28年)、近隣の農地も預かり農業をされていた父・道良さんの急逝により就農を決意され、会社を退職し、本格的に農業を始められました。同年には法人化し、お父さんとご自身の名前に共通する文字『良』から会社名を『Ryo』にされたそうで、本人も『りょうさん』と愛称で呼ばれています。



ライスセンターを完備

1年目は経営面積4haでスタートされました。農業は手伝う程度だったため、手探りの状況で、戸惑いと苦勞の連続だったと言います。それでも、2年目は8ha、3年目は12haと経営規模を拡大されました。現在は約18haに水稻を作付けし、他に約12haの受託作業を西田さんとスタッフ2名で行っています。□司



区の「京力農場プラン」の担い手として、農地中間管理機構を活用して農地集積を行い、現在、同地域の60%近くの集積率となっています。就農3年目の令和元年には、ライスセンターを建設されました。荷受けホッパー、乾燥機4台、放冷タンク2台、粳すり機2台などを備え、地域農業を守る

拠点施設となっています。

また、ドローンを活用したスマート農業も取り入れ、今年も近隣の地域も含め、8月までに約70haの防除作業を実施しました。さらにドローンで作業を行う仲間とともにチームを組んで、一度に広域な防除を行うこともあるそうです。

西田さんは水稻を中心とした農業経営ですが、2年前からはニンニク栽培も始め、今年は約1haに作付けを予定されています。水利の悪い農地で栽培でき、獣害もないため、地域プランDにこの思いを持って取り組まれていきます。

今後は若手農業者や集落営農組織と連携して、何とかこの摩気地域の農地・農村を振興したいと、地域農業を支えながら地域の活性化へ強い思いを話していました。

(取材：辻田榮治 委員)

# 特集

## つながりを大切に 地域と共に!!

南丹市農業委員会農政部会担い手対策グループと、八木町神吉で新規就農された8名で意見交換会を開催され取材を行いました。今回参加されたのは30歳代から50歳代で、農業経験は2年から20年以上、ビニールハウスで主に水菜と九条ネギを生産されています。



農業委員からは「神吉は市内においても新規就農者が多いと思うが、どういったところが魅力に感じましたか?」と質問がありました。参加者からは、農家同士が気軽に相談できることや、定期的に意見交換会を行うなど、つながりを大切にしていることが魅力だという意見も聞きました。また、ここ最近ではコロナの影響で行われていないそうです。若手メンバーで一杯飲みながら、今後の農家のあり方を考えておられます。



最後に農業委員から「農業をされていて困っている事はないですか?」との質問には、「最近、資材や肥料が高騰していて利益率が悪くなっている。何か対策を考えてほしい」と声が上がりました。今回取材した意見交換会は約1時間でしたが熱い討論が繰り広げられました。これからも農家の輪を大切にして農業を活性化させていってほしいと思います。(取材:川勝芳明 委員)

## 京都府立農業大学校令和5年度の学生を募集します

京都府立農業大学校では、豊かな自然に囲まれた環境の中で、農業の担い手、農業後継者を養成しています。収益性の高い京野菜や宇治茶の生産を学び、農業に従事する意欲ある学生を募集しています。

◆募集人数 20人程度(推薦入学を含む)

◆出願資格 出願資格 学校教育法に規定する高等学校若しくは中等教育学校の卒業生(令和5年3月卒業見込み)又は同等の学力がある者で令和5年4月1日時点で40歳未満の者

◆試験日程

一般入学試験(前期)	受付期間	令和4年12月 1日(木)~12月14日(水)
	試験日	令和5年 1月12日(木)
一般入学試験(後期)	受付期間	令和5年 1月20日(金)~ 2月 1日(水)
	試験日	令和5年 2月17日(金)

問い合わせ先 京都府立農業大学校(0773-48-0321)

# なんたん あっちこっち

とにかく広い南丹市。  
南丹市のあちらこちらで、地域ならではの魅力的な取り組みがされています。  
そんな南丹市の、**あっちこっち**のできごとを紹介します。



## 休耕田を活用 小学2年生の農業体験



6月の梅雨空の下、美山小学校2年生16名と引率の先生3名が、美山町担当委員と農業体験を実施しました。

毎年2年生を対象に行ってきた農業体験は今年で5度目を迎えます。午前中は委員で圃場を整地し、畝立を行った後、マルチをかけました。

午後からは子どもたちと合流して、サツマイモの苗を植えつけました。

子どもたちは、委員から作業手順の説明を受けた後、マルチかけから植えつけまで一連の作業を体験しました。子どもたちの隣で委員が植え方を教えると100本の苗を手際よく植えつけていきました。秋の芋掘りにはたくさんサツマイモが収穫でき、子どもたちに喜びと感動を味わってもらいたいと願っています。

(取材：梅津義明 委員)



## 委員ぶらり旅

旅人：梅津義明 委員

「あやべグンゼスクエア」を訪ねて

国道27号線から由良川にかかる丹波大橋を渡り、白瀬橋に向かう道路沿いにグンゼの創業からの歴史を今に伝える記念館など歴史的建造物群が左右に見えてくる。

広い駐車場の中を抜けると、苑内には明治29年に綾部の地で創業したグンゼのあゆみを今に伝える3つの蔵や、創業者の波多野鶴吉が暮らした住宅の一部を移築したものなどが残っている。また、綾部バラ園には地元市民ボランティアにより色とりどりのバラが植栽されていて、園内中央には平和への願いを伝えるため「アンネのバラ」が植えられている。

特産館では地元産の農産物やワイン、酒類等がところ狭しと並べられている。カフェコーナーもあり玉露や抹茶スイーツも楽しめる。青く澄み渡った空に3つの白い蔵と色とりどりのバラの風景が映える。



## 編集後記

実りの秋になり、神吉でも稲穂が黄金色になりました。表紙掲載の小濱達郎さんご家族も一家総出で稲刈りをされ、乾燥は昔ながらの天日干しをされます。子どもたちに美味しいお米を食べて、元気いっぱい成長して欲しいと願っています。(川勝芳明 委員)

**地域の食と農業の情報紙『なんたん』**  
自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、すてきな情報をお待ちしております。  
農業委員会事務局 電話：0771-68-0067

- |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |    |        |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|--------|
| 三崎 | 藤原 | 梅内 | 前田 | 井上 | 波部 | 橋本 | 小早川 | 内藤 | 内藤 | 寺尾 | 辻田 | 杉森 | 川勝 | 谷口 | ◆広報委員会 |
| 正子 | 忠司 | 義裕 | 利治 | 雅晶 | 尚徳 | 治樹 | 健一  | 政博 | 義彰 | 榮延 | 義治 | 義弥 | 芳明 | 定己 |        |